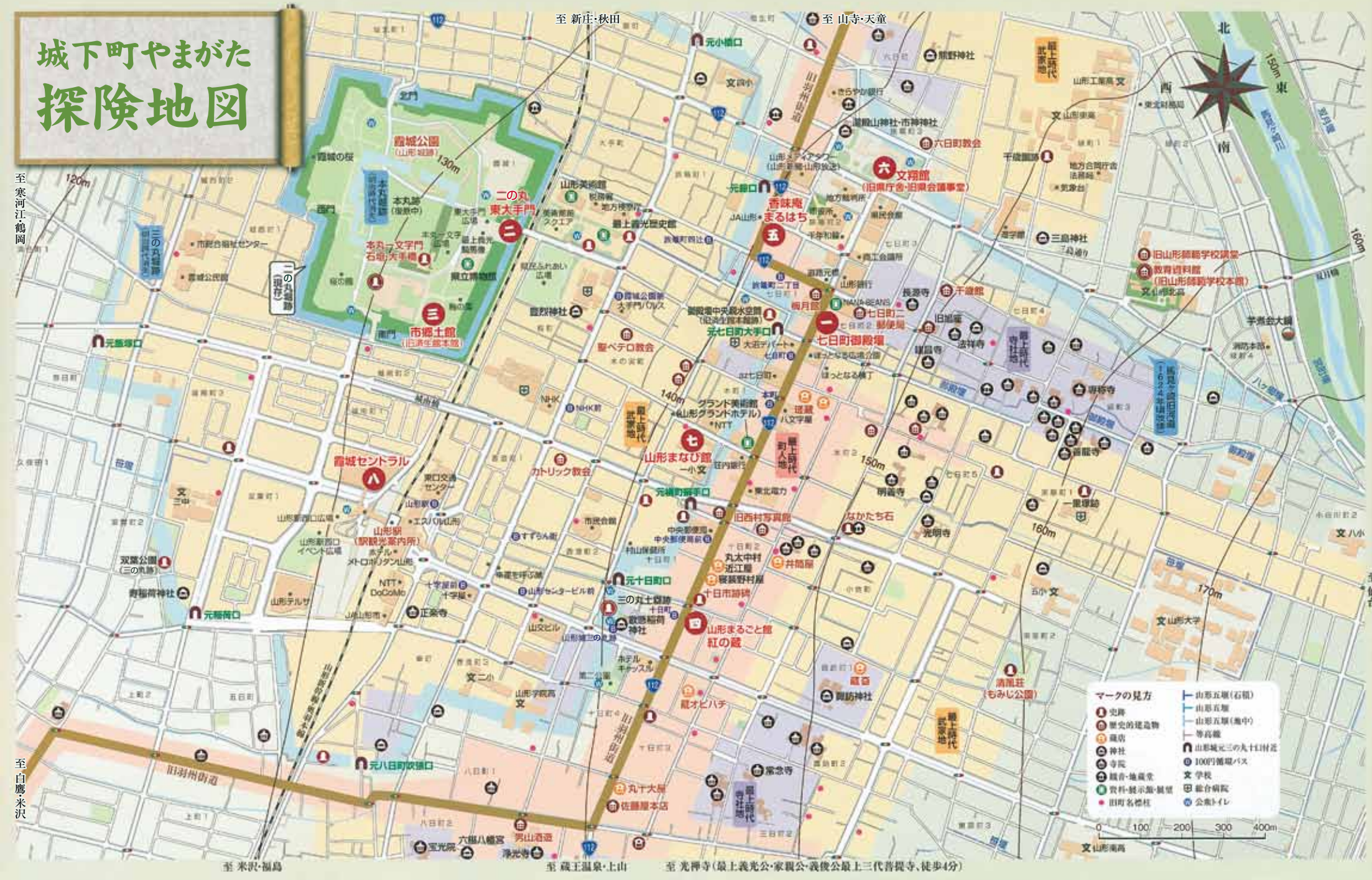


城下町やまがた探険地図



ゆかりさんの街なか歩きノート

中心街100円循環バスで巡る「山形時代の建物」コース

- ①山形駅前スタート
- ②十日町「紅の蔵」前下車
- ④ **山形まるごと館** 紅の蔵(明治34年)
※旧長谷川呉服店蔵
- ③中央郵便局前下車
- ⑦ **山形まなび館**(昭和2年)
※国登録文化財・近代化産業遺産
※山形市立第一小学校旧校舎
- ④七日町下車
- ① **七日町御殿堰**(江戸時代)
- ⑤旅籠町二丁下車
- ⑤ **香味庵まるはち**(大正5年)
※国登録文化財
- ⑥ **山形県郷土館 文翔館**(大正5年)
※国重要文化財・近代産業遺産
※旧県庁舎 旧県会議事堂
- ⑥霞城公園前下車
- ② **山形城跡 二の丸東大手門**(江戸時代)
※国指定史跡
- ③ **山形市郷土館**(明治11年)
※国重要文化財・近代産業遺産
※旧済生館本館(復原)
- ⑧ **霞城セントラル**(平成12年)

ゆうすけくんの街なか歩きノート

三島通庸の街づくり探検

- ◇山形駅前スタート(徒歩)
- ①**山形市郷土館**(霞城公園内)
※旧済生館本館(移築・復原)
- ②**御殿堰中央親水空間**(市立病院済生館敷地内)
※旧済生館本館跡
- ③**山形県郷土館 文翔館**
※旧県庁舎 旧県会議事堂
- ④**千歳園碑**(県立山形東高等学校正門前)
- ⑤**三島神社** 三島通り
- ⑥**教育資料館**(県立山形北高等学校北側)
※旧山形県師範学校本館

12 街なか歩きで歴史を楽しむ

平成

上の地図は、城下町山形の史跡、歴史的建造物、神社や寺院、蔵店などを表示しています。江戸、明治、大正、昭和、平成と時代が交差する街並みを探検してみましょう。



山形の町は、斯波兼頼により山形城の基礎が造られました。最上義光の時代には、城を守る街づくりとしての城下町はもちろん、商業都市としてのまちづくりの工夫が随所に見られます。

最上川舟運の整備による紅花交易の発展、蔵王や出羽三山信仰の隆盛に伴う参拝者の拠点として賑わい、交流によってもたらされた「蔵文化」などの遺産も多く見ることができます。

江戸時代初期になると、最上氏改易後に山形に入った鳥居忠政により整備された山形五堰が町全体に広がっています。そして、明治になり初代県令となった三島通庸は山形の町の近代化を進めました。

江戸、明治、大正、昭和、平成と時代が交差するまち並みを探検してみましょう。